

札幌を元気にするまちづくり

厳しい経済・雇用状況、社会の急速な変化。転換期にある今こそ、力を合わせて、誰もが個性を發揮し生き生きと暮らすことのできるまちづくりを進めます。

元気な経済が生まれ、安心して働ける街

札幌を支える中小企業や新しい事業に挑戦する市民・NPO（民間の非営利団体）に対する資金面での支援を目的として「札幌元気基金」の資金の枠組みづくりを進めます。また、建設業などの構造不況業種に対し、きめ細やかな支援策を講じるほか、若年層や女性、中高年者の就労を支援します。

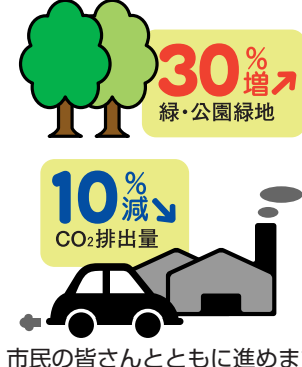
や経験を生かして、地域での子育て支援の拡充を図り、そこで生まれた人の輪をさまざまな分野の活動に結び付けていきます。

また、高齢の方や障がいのある方が地域で自立した生活を送れるよう、街のバリアフリー（無障壁）化を進めます。

さらに、市民一人ひとりが健康づくりに取り組める環境を整備します。

世界に誇れる環境の街

せせらぎの回復などを通じ清らかな水辺環境を生み出すほか、ゆたかなみどりの30%増を目指して市民、企業の皆



市民の皆さんとともに進めます

さんと一緒に街の緑化を進めます。また、二酸化炭素排出量の10%削減を目指すとともに、循環型社会への転換を推進。資源として雪を見つめ直し、北国らしい暮らしを創造します。

このほか、歩行者や自転車利用者に配慮し、公共交通機関を軸とした交通網の整備に力を入れるとともに、魅力的で活力あふれる都心の再生を進めます。

芸術・文化、スポーツを発信する街

街の至る所で誰もが芸術・文化の楽しみを享受し、発信できる文化の薫るまちづくりを進めます。また、地域に根差したプロスポーツを市民と育てます。

ゆたかな心と創造性あふれる人を育てる街

明日を担う子供たちが思いやりとゆたかな心を持って生き生きと育つ環境づくりを、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たしながら進めていきます。国際的視野を持ち、地域社会への貢献を果たす市立大学の設立を目指すとともに、誰もがいつでもどこでも学習でき、地域の活動に生かされるよう環境整備を行います。

市役所を変えたいために

選挙を通じて強く感じた市役所改革への熱い期待。市民の視点、生活感覚をしっかりと持ち、伸ばすものは伸ばし、変えるべきは変えることが私の責務です。

市民のために/挑戦する市役所を目標に改革

市民志向・成果志向で取り組み、自ら考え行動する職員を育てるため、人事制度改革や研修の充実を図ります。予

算・人事・機構など必要な権限を事業部門に移譲。限られた経営資源で最大の効果を上げられるよう、成果重視の行政システムをつくりま

す。市役所自らが内部努力を徹底し、人員の削減や事業の効率化を進めることにより、二百億円の経費削減を目指します。また、出資団体への評価の仕組みを充実させ、必要性や経営状況などの検証を行いながら改革を進めます。

さっぽろ元気プランで進めます

これらのビジョンに掲げた内容を具体的に進めるため、①市民自治、②まちづくり、③市役所改革の各プランからなる「さっぽろ元気プラン」を策定します。

市役所改革諮問委員会(仮称)

秋をめどに設置

市民の視点による改革を目的にした、市民公募委員を中心とする第三者機関

市役所改革推進室

7月7日に設置

諮問委員会の意見を踏まえ、三つのS（スピード・スリム・サービス向上）を目標に、強力、迅速に改革を進める内部組織

「市役所改革諮問委員会(仮称)」と「市役所改革推進室」が連携を図りながら市役所改革を進めます

この施政方針に関するお問い合わせは
市役所改革推進室

TEL (21) 2061、
FAX (218) 5175

※コンベンション＝国際会議やイベントなど多くの人が集まる催しの総称